

授業科目名	公衆衛生学		科目コード	2303004	
開講クラス	動物健康管理学科	コース	動物園・水族館・ドッグ インストラクターコース	学 年	1 年
担当教員	野崎香織（非常勤講師）				
	実務経験教員（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） 実務経験内容 愛玩動物看護師 動物病院にて約10年動物の診療補助、看護に従事 現場での経験をもとに、事例を出しながら授業を行う				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	31時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト1	書 名	コンパニオン・アニマルの新・健康管理学			
	著 者	浅野妃美・浅野隆司			
	出版社	株式会社 EDUWARD Press			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習				
<p><授業の目的・目標> 家庭動物の医療ならびに飼育・衛生指導を通じ、人と動物との共生社会においてお互いが良き関係であるよう、動物と人への感染症の予防と対応を学ぶ。</p>					
<p><授業の概要・授業方針> 微生物の基礎知識を習得することにより、免疫学の基礎や消毒・滅菌等の衛生管理の重要性を理解させる。 また、人獣共通感染症についても学習し、動物の正しい飼育方法、健康管理、接し方を教える。</p>					
<p><成績基準・評価基準> 前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が 80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60～100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p>					
<p><関連科目他></p>					

授業科目名		公衆衛生学
回	授 業 内 容	備 考
1	オリエンテーション	
2	公衆衛生学とは・何を学ぶのか	
3	感染症が成り立つためには	
4	ズーノーシスの定義	
5	感染症についての映像鑑賞	
6	感染症の経過について	
7	感染症の対策について	
8	細菌の性質や分類について	
9	真菌の性質や分類について	
10	ウイルスの性質について	
11	細菌（常在菌）について	
12	狂犬病の疫学・狂犬病の病態について	
13	狂犬病に対する意識（日本）とこれからの対策について	
14	狂犬病についての映像鑑賞・感想	
15	狂犬病予防法について 前期まとめ	
16	前期復習	
17	ノミについて	
18	シラミ・ダニ類について	
19	内部寄生虫症 回虫・条虫・トキソプラズマ・エキノコックス	
20	犬の感染症 ワクチンについて	
21	犬の感染症 ケンネルコフ	
22	犬の感染症 ジステンパー・伝染性肝炎	
23	犬の感染症 パルボウイルス感染症・レプトスピラ症	
24	猫の感染症 ワクチンについて	
25	猫の感染症 ウイルス性鼻気管炎・伝染性腹膜炎	
26	猫の感染症 パルボウイルス感染症・白血病ウイルス感染症	
27	猫の感染症 免疫不全ウイルス感染症	
28	消毒の種類と仕方について	
29	動物由来感染症とは・その背景	
30	各種ズーノーシスについて	
31	後期まとめ	